

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ケアライフサポートトリぼんfirst		
○保護者評価実施期間	8年 1月 7日		8年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	8年 1月 7日		8年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業所向け自己評価表作成日	8年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児どうの直接支援・個々の特性に合わせたSSTプログラム、個別支援を行い取り組んでいます。	レクリエーション、日々のプログラム、子どもたちの関わりを増やし、集団活動協力型や対戦型の集団活動、コミュニケーション、SSTの練習など。	子どもたちもちろん、職員の意見やアイデアを出しやすくなるように、ミーティングや会議、話し合いの場を増やしていく。
2	当事業所での取り組みや本人の様子について連絡ノート、SNS等でのやりとりを通じて保護者の方へ共有することで情報共有、疑問点に対する説明対応等が出来る。	その時の子ども本人の様子などを連絡ノートへ記入し、保護者の方と共有、SNS、Instagramでも普段の取り組みを知って頂きご覧いただいています。	引き続き、連絡ノート、SNS、LINE、電話など本人の様子について発信や連絡受付を行っています。
3	視覚支援の充実。	視覚化、日々の取り組む時間を共有。有効に次の行動に移れるように絵カードや写真などを用いて工夫し一緒に確認する。	視覚支援理解が難しい。子どもたちに色々なプログラムを用いて分かりやすく視覚支援作成にも強化。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながり(保護者同士の繋がりも含む)を意識した活動ができていないこと。	必要に応じて他の事業所や連携を行っていき、社会資源との連携、地域社会や保護者同士の交流の場も設ける機会があまりない。	地域交流イベントの企画や、保護者同士での話す機会を設けるなど外部とのつながりを少しずつ広げていけばと考えている。
2	当事業所の情報(各種マニュアル、災害対策)など発信があまりできていないこと。	月間行事としてイベントや取り組みなどは、2か月前から周知を行っているが(各種マニュアル、安全計画など提示し閲覧資料として事業所には置いている)年に二回のモニタリングでの閲覧機会がなく回数が少ない為知られていないなどが考えられます。	閲覧資料の充実と気軽に閲覧しやすい場所への再設置や色々な情報もSNS、連絡ノート、お手紙等でより良い発信をしていく。
3	計画に基づいた支援やサービス提供職員に対する技術的な指導と助言。計画の作成に遅れや不十分な所があり、職員間での共有がうまくいかない面もある。		事業所内の研修、外部研修での確認周知。理念を視野に入れられるように学ぶ。